

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2022.10.4 (火) 晴れ 参加者：16名 9:00~15:30

10月なのに気温 30°真夏日でした。ただ風がやや強めでしたので、夏ほどの暑さは感じられませんでした。それでもこの日はニイニイゼミ、アブラゼミの鳴き声が聞こえていました。

このレポートを作成している日(6日)は気温 11.5度 12月中旬の寒さです。調査日に元気になっていた虫たちが心配です。

野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森一森西側側溝一田んぼ一遊水地と回りました。

外一外来種 園一園芸種

野の花苑 花も昆虫も、カエルたちも元気です。



藤袴 フジバカマ 秋の七草



白嫁菜 シロヨメナ



白花桜蓼 シロバナサクラタデ



犬升麻 イヌショウマ



秋桐 アキギリ 園



黄花秋桐 キバナアキギリ



霜柱 シモバシラ
冬には氷の花ができる



朶 オケラ 生薬・整腸剤



日本薄荷 ニホンハッカ
葉が良い香り



山薄荷 ヤマハッカ
香りはない



大文字草 ダイモンジソウ
ワサビ田の水辺にある



白山菊 シラヤマギク



関東嫁菜 カントウヨメナ



柚香菊 ユウガギク



大薊 タイアザミ



ハラビロカマキリ
前翅に白い紋があり、わりと樹上で見られる



イチモンジセセリ
後翅に一文字紋があるチヨウ イネ科が食草



ツマグロヒョウモン♀
翅の端が黒い、派手な模様が♀、♂はヒョウ柄だけ



キタキチョウ



スジグロシロチョウ
交尾中



コガタコガネグモ♀
10mmの大きさ♂5mm



ニホンカナヘビ



ニホンアマガエル
杭の穴からコンニチワ

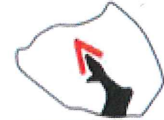
ナツアカネとアキアカネの違い

ナツアカネ 左

6月ごろ羽化し、夏の間もそこから遠くへ移動しません。成熟したトンボは胸まで赤くなり、胸の黒い3本線の中央は角張っています。

アキアカネ 右

6月ごろ平地で羽化し、すぐに涼しい山地に移動します。涼しくなった秋に平地に戻ります。成熟しても尾は赤くても胸まで赤くはなりません。また黒線の中央の先は尖っています。



ルリタテハ サナギ

このサナギの側に、幼虫が薄黄色の塊を抱えています。写真右→

これはルリタテハに寄生した、ルリタテハサムライコマユバチの繭で、ルリタテハの幼虫が終齢になるのを待って幼虫から脱出し、集団で繭を作るそうです。しかも幼虫に、繭を守らせるような体勢を取らせているようです。脳をコントロールするらしいです。こわいですね～



翅を閉じている→



ルリタテハ成虫



野の花苑で見られた花と実：ワレモコウ・キキョウ・ゲンノショウコ（赤花、白花）・シュウメイギク・タイワンホトトギス・ミズヒキ・ギンミズヒキ・キンミズヒキ・シュウカイドウ・ヤブミョウガ・セキヤノアキチョウジ・キツリフネ・シンワスレナグサ・メドーセージ・シャクチリソバ・オオダイコンソウ・タムラソウ・ノハラアザミ・カクトラノオ・フヨウ・タカアザミ（ツボミ）・トキリマメ（実）・コムラサキ（実）
コマツナギ（実） 野鳥：カワセミ・ガビチョウ・ヒヨドリ・シジュウカラ・ヤマガラ・メジロ 昆虫：ナガサキアゲハ・ムラサキシジミ・ウスバキトンボ・ニイニゼミ♪・アブラゼミ♪ その他：クリハラリス

弁天坂～見晴らしの丘



猫萩 ネコハギ実 弁天坂



おっ立ちカタバミ 外



狐の孫 キツネノマゴ



現の証拠 ゲンノショウコ



←金木犀 キンモクセイ

弁天坂～見晴らしの丘 花と実

シロバナフヨウ・シロハギ・ヤマハギ・コセンダングサ・セイタカアワダチソウ・ツルボ・オシロイバナ・ケチジミザサ
サルトリイバラ（実）・ナンテン（実）・ヤマボウシ（実）



ミスジマイマイ



チャバネセセリ



ヤマトシジミ



オンブバッタ



ショウリョウ
バッタ



ヒメウラナミ
ジャノメ



ツマグロヒョウモン♂



ウスバキトンボ



キジバト



ヒメハラナガ
ツチバチ

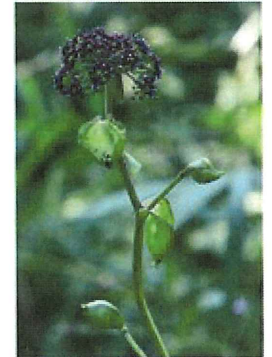


キンケハラナガ
ツチバチ



ホシササキリ 翅端まで 22-
25m よく飛ぶので写真撮れ
ず、参加者撮影

くわくわ森



野竹 ノダケ生薬・前胡
ゼンコとして解熱・鎮咳



毛縮笹 ケチジミザサ
果実の小穂にねばりあり、
ひっつき虫になる



白嫁菜 シロヨメナ



ガマズミ 今年は実が
不作



臭木 クサギ 実で青色が染
まる



石見川 イシミカワ 蔓性
で茎にトゲあり、実が色づく



ドクツルタケの仲間



山椒 サンショウ 野鳥に
タネを散布してもらうため
に目立つ赤い実、中の種は真
っ黒、七味唐辛子に使う



団扇茸 ウチワタケ コナラについて
いた 白色腐朽菌で材を白く腐らせる



釣船草 ツリフネソウ
湿地帯で育つ



赤紫蘇 アカジソ
花は濃いピンク色



南天萩 ナンテンハギ



オオバナミガタ
エダシャク



ホソヒラタ
アブ



ワキグロサツマ
ノミダマシ
クモが餌を抱える



ヒカゲチョウ



ノコギリクワガタ
交尾中



ベニシダの茎にクリーミーな泡が2つ並んで2組
ありました。アワフキの泡と違うので、1つつぶ
してみました。泡だけでした。調べたらヨフシハバチ
類の泡巣で、幼虫がシダの葉茎の中に小さな穴を開
けて潜り込んで暮らしています。シダの茎は傷つ
き、その部分から折れ曲がります。



ホタルガ



セスジツユムシ



キムネクマバチ



ネコハグモ 3~5mm



オスクロハエトリ♂
9mm

くわくわ森～側溝で見られた花と実

ツリガネニンジン・ツルボ・ヤブマメ・ノシラン・オトコエシ・ベニバナボロギク・ホトトギス(実)
キダチコマツナギ(実)・マユミ(実)・ムラサキシキブ(実)・ヤマユリ(実)・イノコヅチ(実)・
フジカンゾウ(実)・ハエドクソウ(実)・ヒメキンミズヒキ(実)・トキリマメ(実)・イボタノキ(実)・
アラカシ(実)・コナラ(実)・クヌギ(実)・クリ(実)

田んぼ周辺



柳蓼 ヤナギタデ



関東嫁菜 カントウヨメナ



チュウサギ



天王森泉公園のカカシ

俣野遊水地～下飯田遊水地



メリケン
ムグラ 外
草紅葉



水金梅
ミズキン
バイ



蛸の足 タコノアシ



オギが黄金色に輝いて風に揺れていました



ミサゴ



トビ



アオサギ コサギ



コサギ ダイサギ カワウ



ウラナミシジミ

暖地(伊豆南部、四国、九州)では周年発生、それ以外は越冬できない。気温が上昇すると、世代を繰り返しつつ北上し、晩夏から秋にかけて見られるようになる



アオモンイトトンボ ♀ 29-38mm



アオモンイトトンボ♂
餌を啜えている



カルガモ



シジュウカラ



エナガ



コバネイナゴ



トノサマバッタ



セスジスズメ ガの幼虫

今田遊水地で見られた野鳥：イカルチドリ・コガモ 30羽